

Ⅲ－4

桜美林学園の創立と展開
学園の対外活動

国際・地域社会連携

かつて中国に創立した崇貞学園と、創立者の留学先であるオーバリン大学（アメリカ）の精神を受け継いだ桜美林学園は、草創期から国際的な学風をもち、アメリカ・中国と深い縁で結ばれてきた。オーバリン大学とは、校地整備資金の援助や派遣講師を受け入れるなど約30年にわたり関係を持ち続け、1982年に友好学術交流協定の調印がなされて念願の姉妹関係となった。また中国においては、1985年に上海外国語学院と初の交流協定を締結。その後、国際交流プログラムの充実、海外の大学との学術交流も暫時広げられ、現在に至っている。

地域社会貢献活動の本格的な取組は、1978年に町田市教育委員会後援の公開講座「桜美林教養大学」が開かれたのが始まりとなり、現在の「桜美林エクステンション」へと続いている。そして、学術・研究のみならず、芸術文化・スポーツの分野においてもさまざまな連携・協力を推進し、国際協力プログラムなどにより活動の場は国際社会へと広がっている。



■ オーバリン大学からフェアフィールド博士が来校（1955年9月12日）
オペリン・シャンシー財団が援助するアジア地域の大学選定のため日本・台湾・インドを訪問。



■ 桜美林大学・北京大学学術シンポジウム（2018年12月8日）
北京大学創立100周年を記念して、1998年から本学と共同で開催。



■ 創立90周年記念「J. F. Oberlin 記念展示」（2011年10月28日）
日本で初めてオペリン記念館所蔵展示品のレプリカ等を展示。



■ 公開講座「桜美林教養大学」（1978年10月21日）
町田市教育委員会後援により町田市初となる大学の公開講座を開催。
（『広報まちだ』より転載）



■ JAXA × 桜美林大学 宇宙と音楽の夕べ（2017年11月23日）
「宇宙フェスタさがみはら」で、音楽専修の学生が宇宙映像に合わせて生演奏。



■ スポーツフェスタ（2015年11月1日）
大学スポーツ強化クラブによる親子で楽しむことができるスポーツイベント。



■ コスタリカで大学野球部がボランティア（2016年2月24日）
JICAと連携し、青少年育成と野球振興・技術向上のための野球指導。



■ にこにこ星ふちのべ商店街シャッターアート（2021年3月1日）
ビジュアル・アーツ専修の学生による地元商店街の活性化。

Ⅲ－4

桜美林学園の創立と展開
学園の対外活動

同窓会・後援会

創立者念願の鉄筋校舎建設が決まると「この時こそ卒業生の活躍時である」という声があがり、1957年に第一回同窓会総会が開催された。これを機に本格的な同窓会の活動が始まり、1967年には同窓生の会合や、休憩・宿泊施設として「神田東京クラブ」（桜美林東京クラブ）を発足。1976年に一層のサービス向上のため「神田東京クラブ」を閉鎖し、町田キャンパスに事務局を設けた。現在、全国に17支部を発足、同窓生数は11万人を超える。

後援会は、1950年に発足した桜美林短期大学PTA組織と66年に発足した桜美林大学PTA組織が母体となり、90年、桜美林大学・短期大学後援会となった。東海を皮切りに、沖縄、北関東（群馬・長野・新潟）と支部を設立し、現在、全国7ブロック・13支部の支部委員で構成されている。各地で行われる保護者懇談会にはじまり、キャンパスで行われる研修会、大学祭でのブース出展と活動の幅が広がっている。



■ 清水安三先生お誕生祝会（1978年7月）
神田東京クラブの時代から卒業生主催のお祝い会を毎年7月に開催。



■ 同窓会館（2006年）
2004年から20年の16年間、同窓生の集う場として親しまれた。



■ 学園歌を歌いながら（2004年）
同窓会の最後はいつも、皆で輪になって、手をつないで学園歌を斉唱。



■ 「清水安三先生銅像」完成除幕式（1986年6月1日）
創立40周年・同窓会記念事業として旧 荊冠堂前に銅像を設置。



■ 後援会沖縄支部保護者懇談会（2007年）
沖縄支部は東海支部に継ぐ2番目の支部として1996年に設立。



■ うまいもんフェア（2012年11月3日）
大学祭の後援会ブースで全国の美味しい名産品を販売。



■ 大学後援会研修会（2017年2月25日）
我が子の就職活動についての講義を熱心に聴講する保護者。